

はじめに

四日市市教育委員会では、平成 15 年の初版より、本市の学校教育の実情を広く情報発信し、市民の方々にもご理解をいただきたいと考え、「学校教育白書」を発行しています。

また、平成 17 年度版（第 4 号）からは、本市のめざす学校教育の基盤として策定しました「四日市市学校教育ビジョン」の進捗状況を評価すること、この白書の役割として位置付け、学校教育ビジョンの「15 の重点」の目標に対する到達状況を記載しております。

さらに、平成 19 年度版（第 6 号）では、学校教育ビジョンと教育委員会の各種事業・取組との関連について、より分かり易くするため、学校教育ビジョンの「15 の重点」にあわせた構成となるよう改訂し、本年度版（第 7 号）においても、学校教育ビジョンとの整合が一層図られるよう掲載内容についても一部改訂を進めました。

一方、今日的な教育課題に対応するために進めている事業・取組についての内容も新たに加え、その現状を表してあります。

今回、新たに加えた内容は、次のとおりです。

博物館との連携

学校づくり協力者会議

親と子どもの豊かな育ち

この「学校教育白書」は、学校教育ビジョンに定める目標や計画の進捗状況等について、行政側からの評価を示すだけのものではなく、教育委員会の各種事業の実施状況や達成状況等について、各学校での取組の様子や子どもの姿から、その成果や課題を明らかにし、今後の改善方針を示しています。

今後もこの「学校教育白書」が、学校教育ビジョンを基盤とした本市の学校教育の実情を広く市民の皆さんに情報発信するツールとして、一層充実したものとなるよう努めていきたいと考えております。